

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年 5月31日 報告

担当課

建築指導課

補助金等の名称	佐倉市木造住宅補強改造工事補助金					
予算科目	一般会計	款	7	項	1	目 2
予算事業名	既存建築物耐震改修等支援費					
実施計画の位置づけ	既存建築物を耐震化する市民に対し支援します。					
補助金分類						
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし				3,399 千円	
交付先	個人					
支出根拠規定	佐倉市災害対策条例、佐倉市災害対策事業補助金交付規則、佐倉市木造建築物耐震診断補助金及び木造住宅補強改造工事補助金交付要綱					
補助の目的	平成12年5月31日以前の既存建築物の耐震化の促進を図る。					
補助の効果	平成12年5月31日以前の既存建築物で耐震度の低い建築物の補強改造に対する補助を行うことにより、耐震化の促進を図る。					
補助対象事業の 具体的内容	平成12年5月31日以前に建築された木造建築物のうち、耐震診断を行い、耐震性が低い建築物に対し、「一応倒壊しない」「倒壊しない」耐震度まで補強する工事に必要とする経費の一部を補助金として交付する。					
対象経費及び補助率	①昭和56年5月31日以前に建築された建築物の耐震補強工事に係る経費の1/2(上限700千円) ②昭和56年5月31日以前に建築された建築物で、高齢者等世帯が実施する耐震補強工事に係る経費の1/2(上限1,000千円) ③平成12年5月31日以前に建築された建築物の耐震補強工事に係る経費の1/2(上限500千円)					
補助金額の根拠	①②耐震補強工事の費用を1,400千円と想定し、1/2を補助して上限700千円とした(高齢者等世帯を対象に300千円の加算あり)。 ③耐震補強工事の費用を1,000千円と想定し、1/2を補助して上限500千円とした。					
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他					
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日					

補助事業計画書・成果報告書－2

0

		担当課	建築指導課		
補助金等の名称		佐倉市木造住宅補強改造工事補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	7,500	15件		1,839	4件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	東日本大震災後の申請件数ピーク時から年々件数が減少しています。熊本地震を経て再び増加に転じていくと思われませんが、今後も事業の周知、啓発に努めます。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	10,000	20件		6,242	13件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成28年4月の熊本地震の影響を受けて申請が増加したと思われます。今後も事業の周知啓発活動に努めます。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	10,000	20件		1,000	2件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	昨年度の熊本地震後の申請件数から減少しています。今後も事業の周知、啓発に努めます。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	10,000	20件		7,028	①3件 ②2件 ③7件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	補助の対象を拡大したことにより、申請件数が増加しました。今後も事業の周知、啓発に努めます。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	10,000	20件			
	成果達成状況の分析と今後の方策				
計画期間終了後の最終的な目標値	耐震化率の向上を図る。				
計画期間終了後の最終的な成果値					